万国OR会議について
(ORAW)

この会議のスケジュールは下記の通りです。

8月14日(月) 開 会 式
記念講演および研究発表会
夜 カクテルパーティー
京都国際会議場(京都市左京区宝池)

8月15日(火) 奈 良 観 光(外人参加者のスケジュール)および東京へ移動

8月16日(水) 日 光 観 光(外人参加者のスケジュール)

8月17日(木) 講演会および研究発表会
会場 東京都市センター(東京都千代田区平河町)
夜 晩 餐 会 会場 赤坂プリンス・ホテル

8月18日(金) 講演会および研究発表会
会場 東京都市センター

この会議のために来日される海外よりの参加者はアメリカ(約30名)その他(インド,イタリア等約5名)同伴家族を含めて約40名程度の見込みであります。

その中には今年度アメリカOR学会長のWalsh博士,ノースカロライナ大学の Nicholson 教授,ニューヨーク大学の Shakun 教授,シラキューズ大学の Roccaferrera 教授,I. B. M. の Gass博士,テキサス大学の Smith 教授,カルフォルニヤ大学宇宙科学研究所の Stimson 博士,デンバー大学 Stinson 博士,ニューヨーク州立大学の Tewarson 教授などを含めアメリカのORコンサルタント会社や軍関係などからもそれぞれ若干の専門家を含んでおります。

国内論文のうち,既に受付け手続きを終了したものは神奈川大の藤田教授等によるポートフォリオ・セレクションの問題,電通大鍋島教授のDP,阪大坂口教授の不確定情報の下での決定,京大三根教授等の信頼性,同村山氏の北海道の乳業の発達モデル,目崎博士の企業経営問題,水谷博士の経済エントロピー,東大宮沢教授の決定問題,広大福田教授の信頼性,統数研渡辺氏のマルコフ決定過程における複合的目的,気象研鈴木氏の気象条件に立脚した高速道路計画について等が予定されており,そのほか綜合講演として日本のOR活動の現況,1970年万国博のプラニング等が候補に上っております。

このほか,パネル・ディスカッションも予定されております。これには前記 Shakun 教授がリーダーで,パネル・メンバーは松田教授,上智大学の Glazer 教授,Nicholson 教授が予定されており,主要テーマは"OR活動の国際比較"ということになっています。内容は各国の社会的,技術的,経済的,心理的(国民感情等)な相違が企業レベルのOR活動の上にどのように反映し,そのためにORの内容にどのような相違が現われているかということを問題としたものであります。

海外よりの参加者は大部分8月13日,大阪国際空港に到着して8月18日に東京国際空港より出発,メキシコ市のTIMS会議に向うことになっております。国際会議の慣習に従い参加者会員のリストを当日配布して個人的に接触するチャンスを作りたいと存じておりますのでご希望の方はできるだけ速かに学会に申込まれるようにお願い致します。学会では,会場の都合で定員を150名以内に制限したい希望でありますので当日ではせっかく申込んで戴いても受付けができずご迷惑をおかけすることが心配されております。

個人を含めて企業等で会議参加者を招待して詳細な懇談をしたいという御希望も多いと存じますが,スケジュールの関係もありますので一応学会あて前以って御申込み戴ければ好都合と存じます。

参加のおすすめ

海外から相当数のお客様が参加されるようですので,日本でも是非大勢の方々を期待しています。

個人会員の研究発表会のみへの参加費は,京都会場1,000円,東京会場2,000円です(社交的会合の費用は含まず)。前記のすべての日程の参加費は会員20,000円,一般25,000円です。

また学会では賛助会員会および一般の会社へも参加を呼びかけています。

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会. 無断複写・複製・転載を禁ず.